

LIVE ENTERTAINMENT MUSIC + STAGE

コロナ禍により壊滅的危機 市場規模の8割が消失

国内ライブ・エンタテインメント市場規模（本書では、ライブ・エンタテインメント市場規模＝音楽コンサートとステージでのパフォーマンスイベントの推計チケット販売額合計と定義）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、数年続いていた増加トレンドから一転、前年比82.4%減の1,106億円となった。

調査概要

- 対象範囲
日本国内で開催される各種ライブ・エンタテインメントのうち、一般に開催情報の告知を行い、かつ一般にチケット販売を行う、有料の音楽・ステージ2ジャンルのイベント。
- 集計ジャンル
●音楽：ポップス、クラシック、演歌・歌謡曲、ジャズ、民族音楽ほか
●ステージ：ミュージカル、演劇、歌舞伎/能・狂言、お笑い/寄席・演芸、パレエ/ダンス、パフォーマンスほか
- 集計期 各年1月～12月（開催日ベース）
- 集計項目
ライブ・エンタテインメント市場を定量的に把握する指標として、「公演回数」「動員数」「市場規模」を基本3指標として推計する。

①公演回数

チケットング事業者が取り扱っている公演をベースに、開催情報を網羅的に収集し、重複を除いて追加する。



②動員数：チケットの推計流通数

公演ごとの設定席数に、販売実績を把握できる公演から算定した席種ごとの実売率を乗じる。



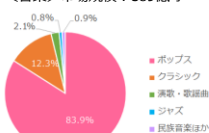
③市場規模：チケットの推計販売額＝チケット単価×チケット推計流通数

公演ごとの席種別推計動員数に各席種単価を乗じる。

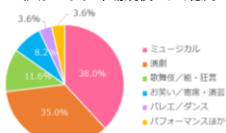


【ジャンル別市場規模構成比(2020年)】

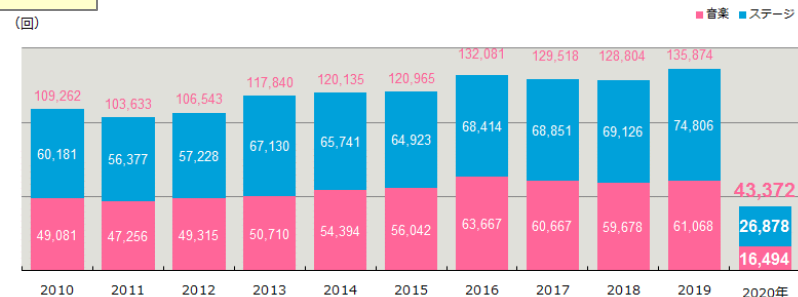
【音楽】市場規模：589億円



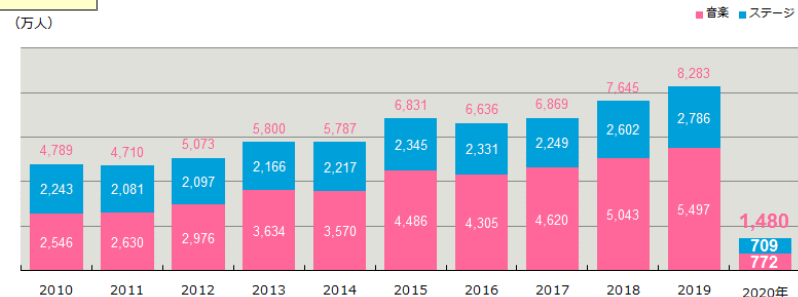
【ステージ】市場規模：518億円



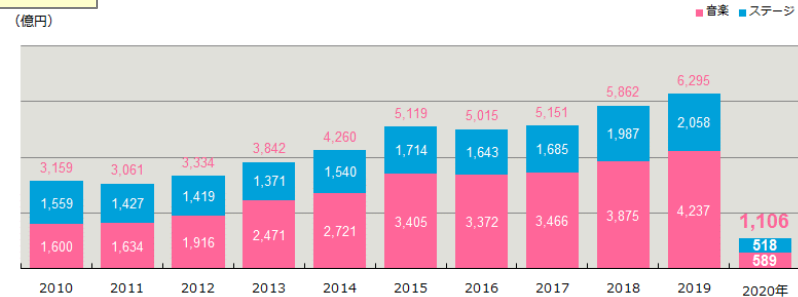
公演回数 開催自粛・制限により、前年比68.2%減



動員数 収容人数制限が大きく影響し、前年比82.1%減



市場規模 動員数減少に伴い、前年比81.9%減



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年2月下旬以降、数多くの公演が開催中止や延期となった。第1次緊急事態宣言の解除後、イベント開催における収容人数や収容率の制限が段階的に緩和されたものの、感染の第2波・第3波到来により、市場の回復は遅々としている。ジャンル別にみると、音楽は前年比86.1%減の589億円、ステージは前年比74.8%減の518億円といずれも大幅に下落し、特に音楽においてマイナス影響が色濃く現れる結果となった。